



四中図書館だより

令和7年12月号
調布市立第四中学校
学校司書 佐藤知香子

冬休み貸出し、始まっています！

冬休みの貸出期間・貸出し冊数は下記の通りです。

- ◆ 貸出期間：12月8日（火）～24日（水）16：10まで
- ◆ 返却期限：令和8年1月13日（火）
- ◆ 貸出冊数：1人10冊まで
- ◆ 冬休み貸出し前に借りた本、延滞本は返却し、冬休み貸出しに切り替えましょう！

◆得点カード

- ◇クローバーカード：12冊
- ◇シルバーカード：14冊
- ◇ゴールドカード：16冊

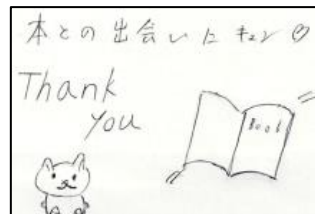
中学校8校司書が、おすすめします！

中学校司書のおすすめ本リスト「ほんとのであい」

は、2006年の発行から今年で20年目を迎えました。

今年度はいろいろな分野から推薦する図書19冊に加え、戦後80年を迎えるにあたり手に取って読んでほしい図書を掲載し、図書館に常設展示しています。

朝読書に全冊読破してみてはいかがでしょうか。



しーさー

図書委員・新春企画 ビンゴゲーム！ 新刊本から、おすすめの本

図書委員会では、来春「図書館ビンゴ」を企画しています。詳細は令和8年1月に発表の予定です。
お楽しみに！

地域×70周年

『地球の歩き方 調布市』 290/チ
地球の歩き方編集室/著 Gakken



調布市を6のエリアに分け、2025年1月～4月現在のデータを掲載。歴史・文化・グルメ・ショップ・プロスポーツの分野と情報満載です。「調布を愛する、あの人に聞きました！」コーナーの立川晴の輔さんは、調布の小学校3校で落語会をされています。四中でも拝聴したいですね。

『ミルクの本』 648/ミ
マイスター高砂/著 自由国民社



給食に欠かせない牛乳ですが、マニアックに探究した方はいないのではないのでしょうか？著者は600種類の牛乳を飲んだ牛乳マニア。牛乳の基礎知識から牛乳パックの秘密、乳牛、ミルクドリンクレシビまで紹介されています。読後はスーパーの牛乳売り場の見方もわかるかもしれません。

『知って極める！ラーメンのすべて』

383/シ
ラーメンのすべて編集部/著 メイツ出版



今やインバウンドの訪日観光客に人気食のラーメン。四中の1月の給食メニュー「サンマーメン」は、漢字表記で「^{さんまーめん}生馬^{さん}麵」と表し、シャキシャキした具（生）が、上にのった（馬）横浜発祥のラーメンです。新年の干支にあやかった、さいさきの良い献立ですね。



モルメレア



咲希

『人魚が逃げた』

913/ア

青山 美智子/著 PHP 研究所



アンデルセンの『人魚ひめ』を読んだことがありますか？物語で印象に残ったのはどのようなシーンでしたか？

ここは週末の歩行者天国でにぎわう銀座。情報番組のインタビューに「王子」と名乗る青年は「僕の人魚がいなくなって」とつぶやいた。たちまち「人魚が逃げた」がSNSで拡散され…。



Sary

動物言語学×観察

『僕には鳥の言葉がわかる』

488/ス

鈴木 俊貴/著 小学館



中村



小さいころから生き物が大好きな鈴木俊貴さんは、敷地内に林があることも中学校を決める一因だったそうです。高校で手にした双眼鏡でシジュウカラやたくさんの野鳥を観察。自然を観察する目を学び鳥類の研究の道へ進みます。

本書の「はじめに」には、「シジュウカラが20以上の単語を組み合わせて文を作っている」ことを世界で初めて発見し、「動物言語学」という学問の領域をさきひらいた著者から皆さんへ、鳥たちの言葉の世界に少しでも気づいて欲しい思いが綴られています。シジュウカラの鳴き声が聞くことのできるQRコード付き。

正月×風物詩

『俺たちの箱根駅伝』上・下

913/イ

池井戸 潤/著 文藝春秋



箱根駅伝（東京箱根間往復大学駅伝競走）のシーズン権を逃した大学は、厳しい予選会を勝ち抜かなければいけない。予選会は毎年10月立川市で開催され、立川駅の構内には参加大学ののぼり旗がはためき、秋の風物詩となっている。明誠学院大学陸上部は2年連続本選出場を逃し、崖っぷちに。一方お正月の人気番組「箱根駅伝」を放送するテレビ局内にも不協和音が。駅伝出場を目指す選手たちと監督、そしてテレビ局。それぞれの立ち位置の「あつれき」から物語は始まる。「まさに渾身の一作。もう二度と、こんな小説は書けないでしょう」。（日本テレビHPより）作者のコメントと文脈から、並々ならない取材の量と確かさが感じられます。1987年以来、箱根駅伝を生中継してきた日本テレビによって、来年ドラマ化が決定。

哲学×AI

『絵と図でよくわかる哲学の世界』

130/エ

ニュートン編集部/編著 ニュートンプレス



進化を遂げる人工知能（AI）の世界に今、哲学が重みを増していると指摘するニュースの紙面が目につきます。（日本経済新聞12月8日朝刊参照）。

実は「科学」と読んでいる学問は、かつて「哲学」に含まれていたのです。科学とのつながりに注目し、哲学の歴史に触れてみましょう。

『始まりから知ると面白い物理学の授業』

420/サ

左巻 健男/編著 山と溪谷社



幾多の失敗を重ねながら「科学の目」と観察・実験を重ねてきた科学者たち。身の回りの素朴な疑問から始まって、重要な法則や原理を発見してきました。

本書は 1. 発見のきっかけ
2. 原理の詳しい解説
3. みじかにやくだっている事例の3ステップで、50の物理法則と原理をわかりやすく解説していきます。

電気×原理

『電気、マジわからんと思ったときに読む本』

540/タ

田村 和夫/著 オーム社



電気はあまりにも身近で、また目に見えないので、私たちは普段その存在を意識することはありません。しかし、基本的な原理を理解しておくことは、現代リテラシーとして大切なことです。本書は電気そのもの、あるいは電気を使用した機器の仕組みや原理をわかりやすく解説したものです。（本書「はじめに」から引用）

物理×原理